

「伊勢志摩サミット三重県民宣言」

おもてなし、おかげさま、崇敬、寛容、もののあはれ、不易流行、常若、自然との共生……。これらは、伊勢神宮をはじめ、私たちのふるさと三重において、悠久の歴史の中、育まれてきた日本人を象徴する文化である。

文化とは、人類が自らの手で築き上げてきた有形・無形の成果の総体である。それぞれの民族・地域・社会に固有の文化があり、相互の交流によって発展する。そして、時代を超えて伝承されていく。日本人を象徴する文化が三重で育まれてきたことは、いわば、三重が「日本の文化聖地」であることを示すものである。

伊勢志摩サミットは、私たち三重県民の「心」と「行動」に変化をもたらした。伊勢志摩サミットの成功は、先人達が時代や文化を自らの手で築き上げたように、まぎれもなく、三重県民一人ひとりが、自らの手で、そして一丸となって築き上げたものである。

これまで、私たち三重県民は、穏やかであるがゆえに“ほどほど”な県民性だと評されることもあった。サミットを経て、積極的に行動し、変化を生み出すチャンスが到来している。このようなチャンスは二度と来ない。今を生きる私たち自身のために、そして未来の三重県民のために、今ここから挑戦する。

伊勢志摩サミットを成功に導いた私たち三重県民なら、必ずできる。

私たちはこれまでの歴史の中で、「多様性への寛容や交流」、「自然との共生」、「伝統・文化の創造と発展」、「安全で平和な社会への祈り」を実践してきた。また、G7伊勢志摩首脳宣言で示されたような世界的課題に対しても果敢に取り組んできた。こういった経験と、サミットを成功に導いた経験や自信、そして「日本の文化聖地」としての誇りを持ち続けながら、私たちの手で、三重の新たな未来を築き上げるのである。

私たち三重県民一人ひとりが、新たな一步を踏み出す決意として、ここに宣言する。

2016年11月27日

【4つの決意】

- 1 自分とは違うことを価値と認め合い、国内にとどまらず、さまざまな国のさまざまな立場の人たちとつながって、誰もが挑戦、活躍できる社会にします。〔親和〕
- 1 美しい自然をはじめとする豊かな環境を守り育み、共生して、持続可能な社会にします。〔調和〕
- 1 三重の伝統・文化を、学び、伝え、創造し、発展させ、心豊かな社会にします。〔和の文化〕
- 1 安全・安心な社会をつくりながら、平和を強く希求していきます。〔平和〕

【行動】

1 自分とは違うことを価値と認め合い、国内にとどまらず、さまざまな国のさまざまな立場の人たちとつながって、誰もが挑戦、活躍できる社会にします。

- 国籍、性別、考え方、年齢などの「違い」を「価値」と認め付き合います。
- 郷土への誇りをもち、さまざまな国の人と積極的に交流します。
- 世界に関心に向けて、地球規模で考え、行動します。
- すべての人が能力を発揮し活躍できる環境をつくります。
- サミットでの行動力、成功体験を生かして、新しいことに挑戦します。
- ・
- ・
- ・

【あなたの行動】

1 美しい自然をはじめとする豊かな環境を守り育み、共生して、持続可能な社会にします。

- 海、川、森林などの自然環境がいま以上に美しく豊かとなるよう、守り育てます。
- 自然とふれあい、自然を身近に知り、学びます。
- 限りある資源を大切にし、省エネルギーに努めます。
- ごみの減量、再使用や再生利用に取り組みます。
- 環境への負荷を少なくするための技術革新に取り組み、また、環境にやさしい製品を使用します。
- ・
- ・
- ・

【あなたの行動】

1 三重の伝統・文化を、学び、伝え、創造し、発展させ、心豊かな社会にします。

- 伝統行事や祭りに積極的に参加し、三重の伝統・文化に触れ、学び、その素晴らしさを発信します。
- 他の文化との交流等により三重の文化を発展させ、魅力ある文化を生み出します。
- 地産地消や三重の食材の発信により、三重の食文化を伝えます。
- 「おかげさま」という感謝の心で人に接します。
- 三重を訪れた人を温かくおもてなしします。
- ・
- ・
- ・

【あなたの行動】

1 安全・安心な社会をつくりながら、平和を強く希求していきます。

- さまざまな立場の人と協力し、犯罪や事故等のない安全・安心なまちをつくります。
- 自然災害から、自らの身は自ら守るとともに地域のみんで助け合って防災対策に取り組みます。
- 平和への第一歩として、家族や友人、近所、職場など周囲の人を大切にします。
- 人と意見が違う場合であっても、意見を尊重し、話し合いで解決します。
- 地球上のすべてのものを自分の子どもと思い、大切にします。
- 日々の生活において平和とは何かを考え、できることから取り組んでいきます。
- ・
- ・
- ・

【あなたの行動】

**あなたの行動が三重の未来につながります
あなたはどんなことをしていきますか？**

事例集

伊勢志摩サミットでは、多くの県民の皆さんに活躍いただき、たくさんの成果が生まれました！

【おもてなし大作戦の県内全市町での展開】

- ・クリーンアップ作戦 キックオフイベントへの参加者約700名 6万人以上が活動
- ・花いっぱい作戦 スタートセレモニーへの参加者約300名 飾花数11万本以上

【外国語案内ボランティアの活躍】

1,003名応募。277名活動。

【配偶者プログラムでの参加】 延べ148名

【官民協働による取組】

官民で協力してテロ等を未然に防止するための取組「テロ対策パートナーシップ」

(44機関が参加)

など

【多様な皆さんの参加】

・配偶者プログラム（女性）

海女によるお出迎えや交流85名 女将団体によるお出迎え9名

・首脳神宮訪問での参加（子ども・若者）

小学生による植樹のお手伝い20名 幼稚園児によるお出迎え46名

・配偶者プログラム(子ども・若者) 食物調理科生徒等による食事の提供11名

・ジュニア・サミットでの参加（子ども・若者） 延べ518名

・配偶者プログラム（障がい者）

〔お菓子の提供〕 シフォンケーキ、サブレ

〔パラスポーツ体験〕 約50名

・贈呈品（障がい者）

〔総理夫人から首脳等配偶者への贈呈品ラッピング〕 バッグ

など

その他にも県産食材、県産品などが大活躍し、たくさんの成果がありました！

【県産食材等の使用】

- ・首脳会議や配偶者プログラム、IMCにおいて、伊勢エビや伊勢マグロ、アワビ等の海産物、松阪牛や伊賀牛、伊勢茶等の農畜産物、さらには日本酒、加工品など、県内26市町から、少なくとも269品目の県産食材等の使用

- ・首脳会議用円卓に尾鷲ひのきが使用されたほか、会議用机・椅子などに少なくとも42品目の県産品、食器類の使用

など



県民の皆さんが今後さらに活躍していただけるよう、
行政も環境整備を行っていきます。
三重の未来をいっしょに創っていきましょう。

